

広報委員会会議録

1、開会の日時 閉会	平成28年12月19日 11:20 平成28年12月19日 12:00
2、場所	委員会室
3、出席した委員	吉田克則、下重義人、鈴木安次、鈴木茂、吉田広明、七宮広樹
4、欠席した委員	なし
5、出席を要求した者	
6、職務のため出席した者	議会事務局 事務局長、書記
7、付議事件	第1 議会だより No.137 の企画について 第2 議会報告会について
8、議事の経過	<p>副委員長(下重義人)開会 委員長(吉田克則)あいさつ 第1 議会だより No.137 の企画について 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none">・12月定例会を2~3ページへ、以下繰り下げ・1月12日 13:30~ 編集会議を開催・全28ページにする。・一般質問原稿は27日まで・質疑者の氏名記載はしない。当面このスタイルで制作する。 <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none">・一般質問は議員活動なので氏名を出す、質疑は議題の内容を明らかにするため行うもので、議会として行っているものであるから、どのような質疑があったか(議題内容説明を補完するようなもの)を示せばよい。・変えたばかりである。当面この形で続けるべき。 <p>第2 議会報告会について</p> <p>委員長：案を作成して全協に説明していきたい。時期は2月上旬、場所は町内4か所程度とのことであった。今回と1月12日で素案をまとめたい。</p> <p>4か所のイメージは、埴、常豊、笹原、植田であるが、これまでの例ではなかなか人が集まらなかった。集まり易い場所も検討しなければならない。</p> <p>鈴木(茂)委員：高城は、台宿がよいのでは。</p> <p>鈴木(安)委員：笹原は広い、那倉、片貝をどうするか。</p> <p>委員長：一度に行うのではなく、今年はどここの方部という方法もある。</p> <p>鈴木(安)委員：真名畑地区の人々は植田が会場でも抵抗は少ないだろう。</p> <p>委員長：6箇所程度になるか。</p>

鈴木(安)委員：3日ぐらいかけてもよいのではないか。

下重委員：これまでの集まりはどうだったか。

事務局：平坦部は山間部に比べ人口の割合的にはきわめて少ない。昨年は、福社会館1箇所
で30人の参加が得られた。

前例を踏襲せず新たな方法を模索しないとならない、これまでのやり方では参加人数的には
結果が出ていると思う。

吉田(広)委員：かつて1度だけ参加したが、議会報告会という名称は堅苦しい。名称にも工
夫が必要である。お茶など用意してフランクに行えればよいと思う。

鈴木(安)委員：以前の時もお茶は準備した。

委員長：議会報告会という名称については、以前も「意見交換」の場であることを分かって
もらえるような名称にしようという委員から意見があった。

(場所に関して各委員が意見 聴取不能)

委員長：場所は、埜、常豊、笹原、台宿、植田、那倉とし、議員は1班7人とすることによ
いか。

なお、内容については12日に協議したい。これで議事を終わる。

副委員長閉会

埜町議会委員会条例の第27条の規定により署名する。

平成 年 月 日

広報常任委員長